

／ いい町 糸根町 あなた待ち ／

# TONE

9

Sep. 2023

No. 714



広報とね

「あつたらいいのにな」  
をモノづくり



シリーズ まち・ひと・しごと #52

礼恩株式会社 代表取締役 <sup>ゆみきた のぞむ</sup> 弓木田 望 さん

# モノづくり の基地

「あったらいいのにな」  
をモノづくり



INTERVIEW  
Vol.52



シリーズ まち・ひと・しごと # 52 利根株式会社 代表取締役 弓木田 望 さん

新しい価値を生み出すためには、モノづくりを追求するだけでなく「お客様の声」に俊敏に反応する必要があります。モノに溢れた時代だからこそ「あったらいいのにな」の気持ちを実切に、お客様の心から求めるアイデア・発想をカタチにしています。

小規模・少人数でのモノづくりというフットワークの軽さを武器に、まだ世の中になく価値へ挑戦し続ける町工場「利根株式会社」の代表取締役、弓木田望さんにお話を伺いました。

## 利根町で起業して5年目

弓木田さんが利根町で起業しようと思ったきっかけは、都心まで約1時間のアクセスでありながら、のどかな田園風景が広がる利根町に惚れ込んだから。

「都会の喧噪から離れ、隣近所に気遣いしすぎずに生活ができて、物価も安い。そんな利根町は子育てをするには最高の町だと思います」

そんな利根町で起業をし、平成31年2月、横須賀に「利根株式会社」を設立しました。

「利根株式会社」は、主にアクアリウム（観賞魚飼育）関連の自社製品の企画から製造、企業向け試作品製造、個人向けオリジナルパーツの制作、輸入代行及び販売を行っている会社です。利根町から、新商品を続々開発・販売しています。



1. 「かりねっこ」が「グッドアクアリウムデザイン賞 2019」を受賞した際の写真。2. 礼恩株式会社の定番商品「かりねっこ」。「仮の根っこ」という響きから、かりねっこ→ねっこ→ねこを連想し、猫をモチーフにした形状にすることで、愛嬌のある製品になりました。3. 生分解性プラスチックを採用した「かりねっこ Bio」。「趣味の世界であるアクアリウム水槽という身近なものを通して、環境問題へ取り組む」という弓木田さんの願いが込められています。

## グッドアクアリウムデザイン賞を受賞

令和元年11月24日に開催された「グッドアクアリウムデザイン賞」で礼恩株式会社の人気商品「かりねっこ」が特別賞を受賞しました。

「グッドアクアリウムデザイン賞」とは、アクアリウムの普及に貢献する製品・サービスを対象とする顕彰制度です。

「かりねっこ」は、水草の根本へ装着することで、水草の植え込みを簡単に行うことができます。水草を植えてもすぐに浮いてしまおうという悩みを解決するとともに、水草の根張りを補助するアイテムです。

弓木田さんが「グッドアクアリウムデザイン賞」を受賞したのは、起業してわずか7カ月のことでした。

「社員と協力してみんなで作った商品が、このような形で認められてとてもうれしかった」と語ります。

翌年の「グッドアクアリウムデザイン賞 2020」でも、「かりねっこ Bio」が銅賞を獲得しました。

## 利根中学校職場体験を実施

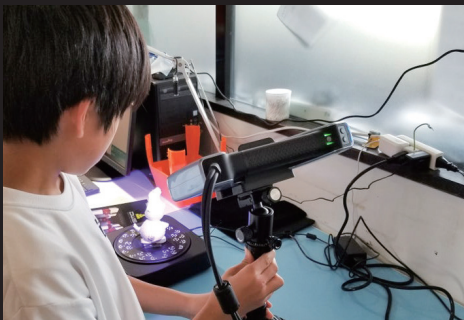
中学生と高校生のお子さん3人と利根町で暮らす弓木田さん。「モノづくりを体験できる職場体験があったら面白そう」というお子さんの一言をきっかけに、令和元年度に、礼恩株式会社で職場体験を実施することとなり、利根中学校の生徒6名を受け入れました。普段の生活の中ではなかなか体験できない「モノづくり」体験は中学生たちに大好評でした。

粘土で作った作品を3Dスキャンし、プログラミングを活用し製品にする「3D作品」や、自分で描いたデザインをCADでプログラミングし、製品を削る「珪藻土コースター作り」、造型機で作品を作る「キーホルダー作り」と、中学生たちはたくさんの体験をしました。

「昔ながらの機械加工から、最新の3Dプリンターまで、「モノづくり」の歴史を子ども達に体験してもらうことで、少しでも興味を持ってもらって、将来の選択肢が増えればいいなと思います」

## コロナ禍に開発した「HI! TOUCH BOTTLE」

ありそうでなかった、プッシュ部分からも消毒液が出る消毒ボトル「HI! TOUCH BOTTLE」は、弓木田さんがコロナ禍に開発した注目商品です。



3D スキャンを用いて作品を作る職場体験の様子。プログラミングを活用した製品作りが体験でき、中学生たちからも大好評でした。

工夫をプラスした新発想消毒スプレーとして、フジテレビ「めざましテレビ」でも取り上げられました。

コロナ禍で学校行事が中止となる中、学校の先生たちの「子どもたちに何かしてあげたい」という熱意に因應するため、弓木田さんは利根中学校で出張授業を実施しました。

授業の中で、中学生たちが「HI! TOUCH BOTTLE」のノズルをデザインし、弓木田さんが持ち込んだ3Dプリンターで、リアルな「モノづくり」を目の前で体験しました。

中学生たちは、人が使ったときに心地がいいデザインを考えながら、商品づくりの大変さと面白さを体験することができました。

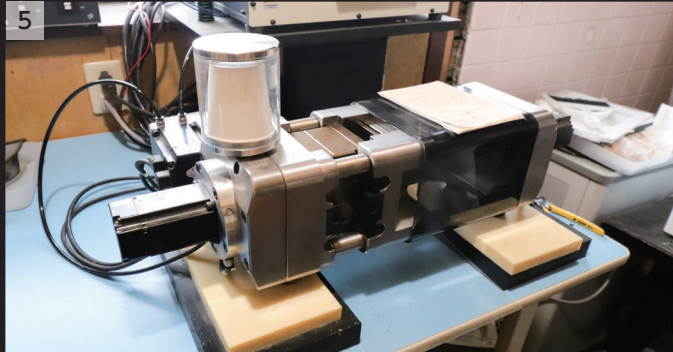
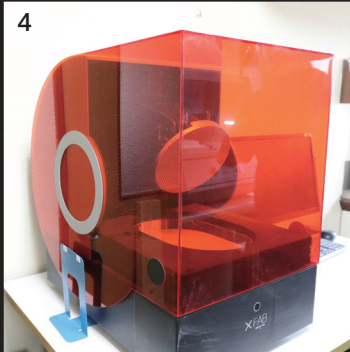
「知らないことについての知識や体験の場を、中学生たちに提供できて良かった。これからは子どもたちのために、地元企業としてできることをしていきたい」



詳細はお店のHPから→



## 礼恩株式会社 人気商品



1. 国産高級天然石「千枚岩」を原料に、粉末化して一つ一つ弓木田さんが手作りの水質浄化剤「たにおくん」。練り込まれた千枚岩から、鉄やマンガ、カリウムなどのミネラルが溶け出し、遠赤外線効果やカルキ吸着、消臭などの効果を発揮します。
2. 左から、いきものシェルター「おおたにさん家(ち)」と「なかにさん家」。一回り小さい「こたにさん家」もあります。一つ一つ弓木田さんが手作りし、笠間焼の窯元にて焼き上げられています。
3. 礼恩株式会社と愛知県高浜市にある有限会社岩月鬼瓦のコラボレーション商品で、トップクラスの女性職人鬼師 kumi さんが三州鬼瓦伝統工芸手法を用いて手作りの、いきものシェルター「鬼ヶ島」。
4. 利根中学校の職場体験でも活躍した、最新の 3D プリンター。
5. 「かりねっこ」を製造するための「射出成形機」。

## やりたいことをやる

「挑戦したいことには挑戦して、やりたいことをやる。人生楽しかった。生きててよかったって笑って最期を迎えたい。そういう生き方を子どもたちにも見せていきたい。」

前職でも「モノづくり」に携わり、国内外で活躍していた弓木田さんは、「今は、やりたいことが自由にできるので起業して良かった」と語ります。

「以前は中国・アメリカと、海外での仕事も多く、子育てにほとんど関わっていなかったが、自由な時間もできて、今では子どもたちにも仕事を手伝ってもらいながら、楽しく生活しています」

小さな町工場から、独創的な発想で商品を開発し続ける礼恩株式会社。これからもみんなの「あったらいいのにな」をモノづくりしていきます。

## 礼恩REON

### 礼恩株式会社 (REON)

- 住所：利根町横須賀 823-1
- 営業時間：10：00～17：00  
12：00～13：00 昼休み
- 定休日：土日祝日
- 電話番号：0297-86-6721
- Instagram：@n\_yumikida
- Twitter：@REONproducts